

2008年度 日本文化人類学会
第2回 理事会 議事録

日時：2008年5月31日（土） 10:00～11:00

会場：京都大学 吉田キャンパス 吉田南構内 吉田南1号館 共 B05 演習室

出席者：山本、赤堀、上杉、太田、大塚、鏡味、春日、葛野、窪田、栗田、桑山、
坂井、佐々木、須藤、関根、鷹木、名和、松田、吉岡、和崎

委任状提出：岸上

欠席者：瀬川

〔承認事項〕

1. 前回（2008年度第1回）理事会議事録
2. 新・再入会員（12名）につき、総務会で入会を承認したことを報告。

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・日本地理学会より「神奈川県立高等学校における地理歴史科の履修形態に関する要望書」に関する賛同依頼があり、総務会で検討の末、本学会も同要望書に賛同し署名すると回答したことを報告。
 - ・京都大学人文科学研究所から、同研究所が共同利用・共同研究拠点の認定を受けることについて本学会からサポートレターを提出して欲しいとの依頼があり、次回理事会で審議を行う予定であることを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・前回理事会で総会への推薦が承認された、第23期監事候補者の石井溥、宮治美江子両氏より内諾を得たことを報告。
3. 総務理事報告
 - ・日本学術会議から提言「新公益法人制度における学術団体のあり方の公表」がニュースメールとして届き、公益法人化に向けた検討の必要性を再確認するとともに、同提言を人類学関連学会協議会、文化人類学・民俗学関連学会協議会の各参加団体へ回覧を行ったことを報告。

〔審議事項〕

1. 2008年度事業計画案について
 - ・庶務理事より、理事会メーリングリストにて配信済みの2008年度事業計画案について修正点を中心に説明があり、一部の文言を若干修正した上で承認された。
2. 2008年度予算案について
 - ・会計理事より、2008年度予算案について前回理事会以降の修正点の説明があり、確認の上、承認された。
3. 各種委員会の委員の追加について
 - ・JRCA編集委員会、英文論集編集委員会、学会賞選考委員会の理事外委員の追加が承認された。

4. 倫理綱領（案）について

- ・庶務理事より、5月23日に理事会メーリングリストにて配信済みの修正案について説明があり、一部の文言を修正した上で承認された。

5. 研究大会の運営について

- ・研究大会運営検討委員会委員長の大塚和夫理事より、委員会の設置理由ならびに今後の短期的・長期的な審議事項についての説明があった。また、短期的な審議事項である2009年度第43回研究大会について、以下の通りの報告と提案があった。

1) 国立民族学博物館の運営により大阪国際交流センターを会場として開催予定であるが、会場スペースが限られているという物理的理由から、研究発表者数に上限を設ける予定である。

2) その際、研究発表の質を維持するために発表時間の短縮などの措置をとらず、研究発表登録に必要な条件（十分な長さの発表要旨の提出、大会参加費・2008年度までの年会費の納入など）を厳格に適用するとともに、登録締切日前であっても、条件を満たした登録者数が先にあげた発表者上限に達した場合には、その時点で登録受付を終えることとする。

3) 発表登録に必要な条件などについては本委員会と開催担当機関（民博）が検討・決定し、確定し次第、早急に全会員に向けて公表することとする。

- ・上記の提案に対し、研究発表登録条件を厳格に適用した場合にはトラブルの増加が予想される等の意見が出され、今後詳細を十分に検討する必要があることを確認した。
- ・また、研究大会運営方法の変更は全会員の権利にもかかわる重要な事項であることから、翌日の総会で、来年度以降の研究発表登録条件の厳格な運用方針について報告することを確認した。

以上